

れい わ さんねん ど
令和3年度

ぶんかげいじゅつ

こども いくせいそうごうじぎょう

じゅんかいこうえんじぎょう

文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

げきだんかぜ こきゅうしゅう じどうげきこうえん
劇団風の子九州 児童劇公演

このゆびと〜まれ!



ぶんかげいじゅつ こども いくせいそうごうじぎょう じゅんかいこうえんじぎょう
文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校、中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

知っていますか? ~10月1日は「国際音楽の日」です~

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。

日本では、1944年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。



文化庁



あらすじ

ヒロは、小学校4年生。仕事で帰りの遅いお母さんに代わって、近所のばあちゃんやじいちゃんに面倒をみてもらっています。ヒロの日課は、ばあちゃんの飼っている犬の散歩に出かけること。その散歩はヒロの大切な時間でした。そう、ヒロの大好きな空想の時間。あるときは洞窟探検、またあるときはヒーローヒロに大変身!

ある日、クラスで一番頭のいいマモルの様子がおかしいと思ったヒロは、マモルを空想の世界に誘います。喜ぶヒロに戸惑うマモル。さあこの二人、空想の世界でどうなっちゃうの?

劇団風の子九州について

~子どものいるとこどこへでもとんでいく~

劇団風の子九州は、1985年劇団風の子より独立して誕生した、九州の福岡に本拠地を置く児童青少年演劇の専門職業劇団です。子どもがいるところ、どこへでもとんでいく、を合言葉に、九州・沖縄各地の街中や山間部の集落、点在する離島を駆け回ってきました。

90年からは国内だけでなく、韓国・中国・インドネシア・パキスタン・インド・オーストラリアなど、アジアを中心に海外公演にも出かけ、多くの人たちとの交流を深めてきています。

2002年からは、韓国の劇団サダリとの合同公演『マンナム』を創り上演してきました。アシテジ(国際児童青少年演劇協会)の国際フェスティバルinソウルでは日本代表としても参加しました。

2015年には、劇団創立30周年を迎えることができました。これからも地域で、子どもたちと共に未来を創る劇団、として、従来の演劇様式にこだわらず、遊びや日常生活の中から、新しい創造と表現の世界を追求し広げていきたいと思っています。



劇団 風の子九州

〒814-0002 福岡市早良区西新5丁目5-13
 TEL 092-841-7889 FAX 092-841-7896
<https://www.kazenoko-kyushu.com>
 E-mail: info@kazenoko-kyushu.or.jp